

各 位

会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
 代表者名 取締役社長 高橋 武治  
 (JASDAQ・コード1994)  
 問合せ先  
 役職・氏名 取締役管理部長 影山信博  
 電話 03-3271-1711

## 平成20年12月期（連結・個別）業績予想との差異 並びに特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成20年12月期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の業績予想について、平成20年8月22日付当社「平成20年12月期中間決算短信」にて発表いたしました業績予想との差異並びに特別利益及び特別損失の発生をお知らせします。

### 1. 平成20年12月期連結業績予想の修正等

#### (1) 通 期 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	12,100	250	200	115	円 銭 13 11
今回修正(B)	12,400	400	260	150	17 10
増減額(B-A)	300	150	60	35	—
増減率	2.5%	60.0%	30.0%	30.4%	—
(ご参考)前期実績 (平成19年12月期)	8,594	172	71	306	34 95

#### (2) 修正理由

売上高は建設事業の積極的な提案営業により、計画を若干上廻る124億円になる見込みです。

営業利益では、タラソセラピー事業は売却に予想以上に時間が掛かったため損失が拡大したものの、建設事業において資材等の高騰に対する抑制努力効果と、事業年度後半には資材等の価格が下落に転じたことにより利益率がアップして、計画を1億50百万円上廻る4億円となる見込みです。

経常利益、当期純利益は、上記の理由に加え、株価下落に伴う投資有価証券評価損84百万円の発生はあるものの計画をそれぞれ60百万円、35百万円上廻る2億60百万円、1億50百万円になる見込みです。

## 2. 平成20年12月期個別業績予想の修正等

### (1) 通 期 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	6,500	240	320	40	円 銭 4 56
今回修正(B)	6,500	430	400	110	12 54
増減額(B-A)	0	190	80	70	—
増減率	0.0%	79.2%	25.0%	175.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成19年12月期)	5,553	364	367	242	27 69

### (2) 修正理由

売上高は計画通り65億円を確保できる見込みです。

営業利益は連結業績で記載の通り、資材や労務費の原価アップ圧力に対する抑制努力効果と、事業年度後半には資材等の価格が下落に転じたことにより利益率がアップして、計画を1億90百万円上廻る4億30百万円となる見込みです。

経常利益、当期純利益は上記の理由に加え、株価下落に伴う投資有価証券評価損83百万円の発生はあるものの計画をそれぞれ80百万円、70百万円上廻る4億円、1億10百万円になる見込みです。

## 3. 特別利益及び特別損失の発生

平成20年12月期個別業績において、連結子会社のタラソテラピー事業からの撤退に伴う損失計上により回収可能性が厳しくなった為に同子会社への貸付金に対し設定した貸倒引当金繰入額3億55百万円が特別損失として発生する見込みです。

一方、前事業年度に設定していた債務保証引当金は今回引当不要となり、債務保証損失引当金戻入益として2億63百万円が特別利益として発生する見込みです。

また、平成20年12月期連結及び個別業績において、個別の減損管理対象である投資不動産について、将来の賃貸収入見込額の低下により回収可能価額が簿価を下廻り減損対象となった為に減損損失1億19百万円が特別損失として発生する見込みです。

なお、これらの特別利益及び特別損失は、1. (1)、2. (1)の連結及び個別の業績予想に織り込んでおります。

以 上